【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公表番号】特表2020-505121(P2020-505121A)
【公表日】令和2年2月20日(2020.2.20)
【年通号数】公開・登録公報2020-007
【出願番号】特願2019-538640(P2019-538640)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｄ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｄ　1/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和2年11月16日(2020.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
外科手術台であって、前記外科手術台は、
第１の表面と少なくとも１つの基部チャネルとを画定する基部部材と、
プラットフォーム部材であって、前記プラットフォーム部材は、上面および底面を画定し、前記底面は、前記基部部材の前記第１の表面に隣接するように構成され、前記プラットフォーム部材は、少なくとも１つのプラットフォームチャネルを画定し、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと前記少なくとも１つの基部チャネルとは、流体連通し、前記プラットフォーム部材は、前記流体連通を維持しながら前記基部部材に対して回転するように構成されている、プラットフォーム部材と、
前記プラットフォーム部材における前記上面上に配置されたノズルと
を備え、
前記ノズルは、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと流体連通する、外科手術台。
【請求項２】
前記少なくとも１つの基部チャネルは、第１の基部チャネルと、第２の基部チャネルとを備え、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルは、第１のプラットフォームチャネルと、第２のプラットフォームチャネルとを備えている、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項３】
前記基部部材および前記プラットフォーム部材のうちの少なくとも１つは、前記少なくとも１つの基部チャネルを前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと接続するように構成されている、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項４】
前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置された１つ以上の壁をさらに備え、前記１つ以上の壁は、前記基部部材の前記少なくとも１つのチャネルと前記プラットフォーム部材の前記少なくとも１つのチャネルとの間の流体連通を維持するように構成されている、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項５】
前記プラットフォーム部材の前記底面および前記基部部材の前記第１の表面のうちの少

なくとも１つは、２つの同心環状壁を画定する、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項６】
前記基部部材と前記プラットフォーム部材とは、前記同心環状壁の最内側壁によって境界をつけられた第１の環状チャンバと前記２つの同心環状壁の間に配置された第２の環状チャンバとを画定し、それによって、前記プラットフォーム部材の第１のチャネルと前記基部部材の第１のチャネルとが、連続流体連通するように構成され、前記基部部材の前記第２のチャネルと前記プラットフォーム部材の前記第２のチャネルとが、連続流体連通するように構成されている、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項７】
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置されている、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項８】
前記基部部材は、入力源と前記少なくとも１つの基部チャネルとの間に流体接続を作成するように構成された１つ以上の側ポートをさらに画定する、請求項１に記載の外科手術台。
【請求項９】
前記ノズルは、前記第１のプラットフォームチャネルと連続流体連通する内側シェルと、前記第２のプラットフォームチャネルと流体連通する外側シェルとを画定し、自己掃気システムを作成する、請求項２に記載の外科手術台。
【請求項１０】
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置され、前記１つ以上のガスケットは、前記２つの同心環状壁に隣接している、請求項５に記載の外科手術台。
【請求項１１】
外科手術装置によって試料を処理する方法であって、前記方法は、
第１の表面および少なくとも１つの基部チャネルを画定する基部部材を提供することと、
上面および底面を画定するプラットフォーム部材を提供することであって、前記底面は、前記基部部材の前記第１の表面に隣接するように構成され、
前記プラットフォーム部材は、少なくとも１つのプラットフォームチャネルを画定し、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと前記少なくとも１つの基部チャネルとは、流体連通し、前記プラットフォーム部材は、前記流体連通を維持しながら前記基部部材に対して回転するように構成されている、ことと、
前記プラットフォーム部材における前記上面上に配置されたノズルを提供することであって、前記ノズルは、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと流体連通する、ことと、
試料を外科手術装置に取り付けることと、
麻酔薬を前記基部チャネルのうちの１つに供給することと
を含み、
前記麻酔薬は、前記少なくとも１つの基部チャネルから前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルに流動し、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルから前記ノズルに流動するように構成され、それによって、前記麻酔薬は、前記試料に投与される、方法。
【請求項１２】
前記少なくとも１つの基部チャネルは、第１の基部チャネルと、第２の基部チャネルとを備え、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルは、第１のプラットフォームチャネルと、第２のプラットフォームチャネルとを備えている、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記基部部材および前記プラットフォーム部材のうちの少なくとも１つは、前記少なくとも１つの基部チャネルを前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと接続するよ

うに構成されている、請求項１１に記載の方法。
【請求項１４】
前記外科手術装置は、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置された１つ以上の壁をさらに備え、前記１つ以上の壁は、前記基部部材の前記少なくとも１つのチャネルと前記プラットフォーム部材の前記少なくとも１つのチャネルとの間の流体連通を維持するように構成されている、請求項１１に記載の方法。
【請求項１５】
前記プラットフォーム部材の前記底面および前記基部部材の前記第１の表面のうちの少なくとも１つは、２つの同心環状壁を画定する、請求項１１に記載の方法。
【請求項１６】
前記基部部材と前記プラットフォーム部材とは、前記同心環状壁の最内側壁によって境界をつけられた第１の環状チャンバと前記２つの同心環状壁の間に配置された第２の環状チャンバとを画定し、それによって、前記プラットフォーム部材の第１のチャネルと前記基部部材の第１のチャネルとが、連続流体連通するように構成され、前記基部部材の前記第２のチャネルと前記プラットフォーム部材の前記第２のチャネルとが、連続流体連通するように構成されている、請求項１１に記載の方法。
【請求項１７】
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置されている、請求項１１に記載の方法。
【請求項１８】
前記基部部材は、入力源と前記少なくとも１つの基部チャネルとの間に流体接続を作成するように構成された１つ以上の側ポートをさらに画定する、請求項１１に記載の方法。
【請求項１９】
前記ノズルは、第１のプラットフォームチャネルと連続流体連通する内側シェルと、第２のプラットフォームチャネルと流体連通する外側シェルとを画定し、自己掃気システムを作成する、請求項１１に記載の方法。
【請求項２０】
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置され、前記１つ以上のガスケットは、前記２つの同心環状壁に隣接している、請求項１６に記載の方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
いくつかの実施形態では、基部部材は、入力源と少なくとも１つの基部チャネルとの間に流体接続を作成するように構成された１つ以上の側ポートをさらに画定し得る。
本発明は、例えば、以下を提供する。
（項目１）
外科手術装置であって、前記外科手術装置は、
第１の表面と少なくとも１つの基部チャネルとを画定する基部部材と、
プラットフォーム部材であって、前記プラットフォーム部材は、上面および底面を画定し、前記底面は、前記基部部材の前記第１の表面に隣接するように構成され、前記プラットフォーム部材は、少なくとも１つのプラットフォームチャネルを画定し、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと前記少なくとも１つの基部チャネルとは、流体連通し、前記プラットフォーム部材は、前記流体連通を維持しながら前記基部部材に対して回転するように構成されている、プラットフォーム部材と、
前記プラットフォーム部材における前記上面上に配置されたノズルと

を備え、
前記ノズルは、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと流体連通する、外科手術装置。
（項目２）
前記少なくとも１つの基部チャネルは、第１の基部チャネルと、第２の基部チャネルとを備え、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルは、第１のプラットフォームチャネルと、第２のプラットフォームチャネルとを備えている、項目１に記載の外科手術台。
（項目３）
前記基部部材および前記プラットフォーム部材のうちの少なくとも１つは、前記少なくとも１つの基部チャネルを前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと接続するように構成されている、項目１に記載の外科手術台。
（項目４）
前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置された１つ以上の壁をさらに備え、前記１つ以上の壁は、前記基部部材の前記少なくとも１つのチャネルと前記プラットフォーム部材の前記少なくとも１つのチャネルとの間の流体連通を維持するように構成されている、項目１に記載の外科手術台。
（項目５）
前記プラットフォーム部材の前記底面および前記基部部材の前記第１の表面のうちの少なくとも１つは、２つの同心環状壁を画定する、項目１に記載の外科手術台。
（項目６）
前記基部部材と前記プラットフォーム部材とは、前記同心環状壁の最内側壁によって境界をつけられた第１の環状チャンバと前記２つの同心環状壁の間に配置された第２の環状チャンバとを画定し、それによって、前記プラットフォーム部材の前記第１のチャネルと前記基部部材の前記第１のチャネルとが、連続流体連通するように構成され、前記基部部材の前記第２のチャネルと前記プラットフォーム部材の前記第２のチャネルとが、連続流体連通するように構成されている、項目１に記載の外科手術台。
（項目７）
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置されている、項目１に記載の外科手術台。
（項目８）
前記基部部材は、入力源と前記少なくとも１つの基部チャネルとの間に流体接続を作成するように構成された１つ以上の側ポートをさらに画定する、項目１に記載の外科手術台。
（項目９）
前記ノズルは、第１のプラットフォームチャネルと連続流体連通する内側シェルと、第２のプラットフォームチャネルと流体連通する外側シェルとを画定し、自己掃気システムを作成する、項目２に記載の外科手術台。
（項目１０）
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置され、前記１つ以上のガスケットは、前記２つの同心環状壁に隣接している、項目５に記載の外科手術台。
（項目１１）
外科手術装置によって試料を処理する方法であって、前記方法は、
第１の表面および少なくとも１つの基部チャネルを画定する基部部材を提供することと、
上面および底面を画定するプラットフォーム部材を提供することであって、前記底面は、前記基部部材の前記第１の表面に隣接するように構成され、
前記プラットフォーム部材は、少なくとも１つのプラットフォームチャネルを画定し、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと前記少なくとも１つの基部チャネルと

は、流体連通し、前記プラットフォーム部材は、前記流体連通を維持しながら前記基部部材に対して回転するように構成されている、ことと、
前記プラットフォーム部材における前記上面上に配置されたノズルを提供することであって、前記ノズルは、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと流体連通する、ことと、
試料を外科手術装置に取り付けることと、
麻酔薬を前記基部チャネルのうちの１つに供給することと
を含み、
前記麻酔薬は、前記少なくとも１つの基部チャネルから前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルに流動し、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルから前記ノズルに流動するように構成され、それによって、前記麻酔薬は、前記試料に投与される、方法。
（項目１２）
前記少なくとも１つの基部チャネルは、第１の基部チャネルと、第２の基部チャネルとを備え、前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルは、第１のプラットフォームチャネルと、第２のプラットフォームチャネルとを備えている、項目１０に記載の方法。
（項目１３）
前記基部部材および前記プラットフォーム部材のうちの少なくとも１つは、前記少なくとも１つの基部チャネルを前記少なくとも１つのプラットフォームチャネルと接続するように構成されている、項目１０に記載の方法。
（項目１４）
前記外科手術装置は、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置された１つ以上の壁をさらに備え、前記１つ以上の壁は、前記基部部材の前記少なくとも１つのチャネルと前記プラットフォーム部材の前記少なくとも１つのチャネルとの間の流体連通を維持するように構成されている、項目１０に記載の方法。
（項目１５）
前記プラットフォーム部材の前記底面および前記基部部材の前記第１の表面のうちの少なくとも１つは、２つの同心環状壁を画定する、項目１０に記載の方法。
（項目１６）
前記基部部材と前記プラットフォーム部材とは、前記同心環状壁の最内側壁によって境界をつけられた第１の環状チャンバと前記２つの同心環状壁の間に配置された第２の環状チャンバとを画定し、それによって、前記プラットフォーム部材の前記第１のチャネルと前記基部部材の前記第１のチャネルとが、連続流体連通するように構成され、前記基部部材の前記第２のチャネルと前記プラットフォーム部材の前記第２のチャネルとが、連続流体連通するように構成されている、項目１０に記載の方法。
（項目１７）
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置されている、項目１０に記載の方法。
（項目１８）
前記基部部材は、入力源と前記少なくとも１つの基部チャネルとの間に流体接続を作成するように構成された１つ以上の側ポートをさらに画定する、項目１０に記載の方法。
（項目１９）
前記ノズルは、第１のプラットフォームチャネルと連続流体連通する内側シェルと、第２のプラットフォームチャネルと流体連通する外側シェルとを画定し、自己掃気システムを作成する、項目１１に記載の方法。
（項目２０）
１つ以上のガスケットが、前記基部部材の前記第１の表面と前記プラットフォーム部材の前記底面との間に配置され、前記１つ以上のガスケットは、前記２つの同心環状壁に隣接している、項目１５に記載の方法。